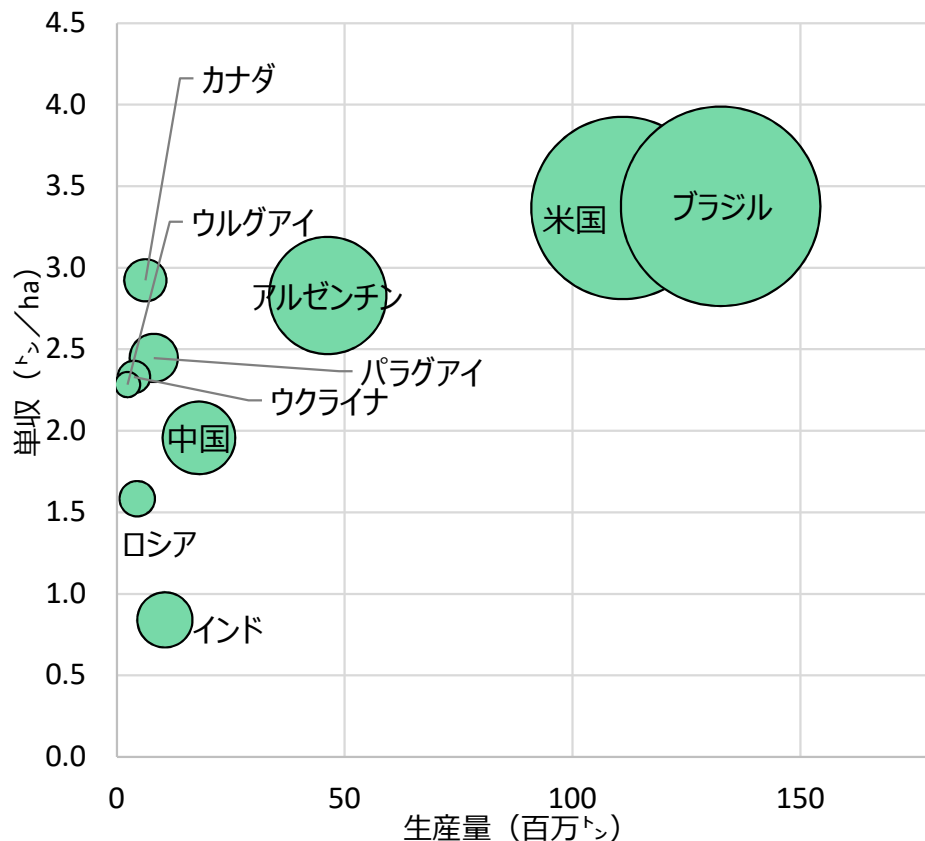


6 大豆の生産量変化

- 大豆生産量は(2019-21年度平均)、ブラジル、米国がそれぞれ世界の生産量の37%、31%のシェアを占め、アルゼンチンを含めた上位3か国のシェアが82%を占めて偏在化している。
- 単収では、上位3か国に大きな差異はなく、アルゼンチンも約3トン/haに達している。ブラジル、アルゼンチンは2000年以降、単収だけでなく、収穫面積の増加が大きく生産量の増加に寄与し、それぞれ2000年度に比べて3倍、1.5倍程度まで拡大。米国は、単収の増加が主に寄与。

① 世界の大豆生産量・単収と主要国の生産量シェア
(2019-21年度平均)



資料 : USDA PS&D Online data

② 主要大豆生産国における生産量の増減要因

(2020年度=100)

		1990年度	2000年度	2010年度	2020年度	2021年度
ブラジル	生産量	11.3	28.3	54.0	100.0	92.8
	収穫面積	24.7	35.3	61.3	100.0	105.1
	単収	45.9	80.5	88.1	100.0	88.4
米国	生産量	45.7	65.4	79.0	100.0	105.9
	収穫面積	68.4	87.7	92.7	100.0	104.5
	単収	66.8	74.6	85.1	100.0	101.5
アルゼンチン	生産量	24.9	60.2	106.1	100.0	95.0
	収穫面積	28.8	63.1	111.1	100.0	96.5
	単収	86.1	95.0	95.4	100.0	98.2
中国	生産量	56.1	78.6	78.6	100.0	83.6
	収穫面積	76.5	94.2	88.0	100.0	85.1
	単収	73.7	83.8	89.4	100.0	98.5
インド	生産量	24.9	50.2	96.9	100.0	113.9
	収穫面積	19.8	44.9	74.3	100.0	96.8
	単収	125.9	112.3	130.9	100.0	117.3
世界合計	生産量	28.3	47.7	71.9	100.0	97.2
	収穫面積	42.2	58.6	80.4	100.0	101.5
	単収	67.1	81.5	89.2	100.0	95.8

資料 : USDA PS&D Online data

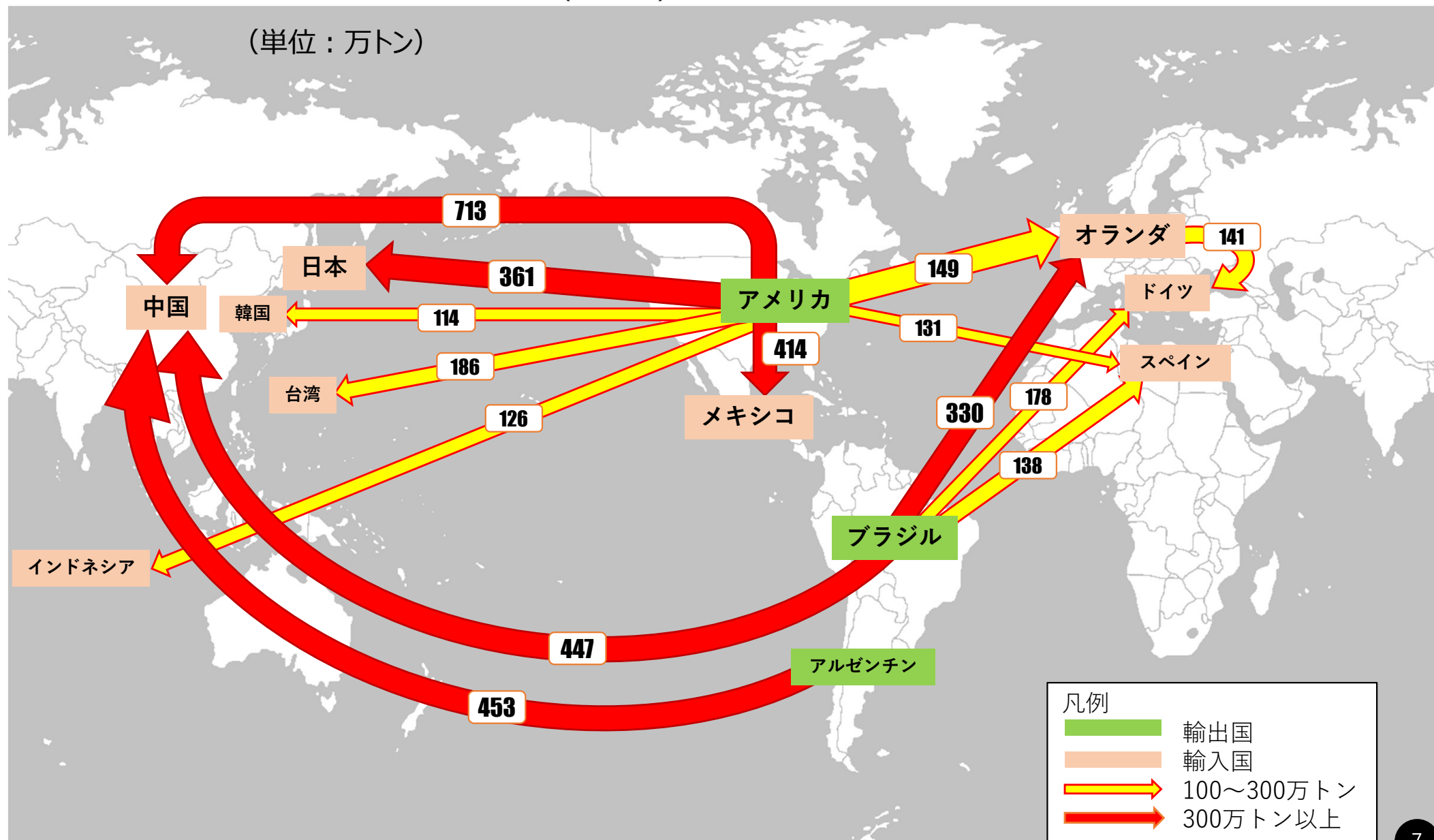
7 大豆の需給動向と貿易フローの変化：2002年大豆貿易フロー図

2002年（前後3か年平均）の輸出量シェアは、米国が48%と高く、次いでブラジルが32%を占めた。輸入量シェアは、中国が28%、日本とメキシコがそれぞれ約8%を占めた。

(USDA PS&D Online data)

注：Global Trade Atlasのデータ（2020.01）で、大豆(HS1201)の輸出上位5か国から、100万トン以上輸出している貿易フローを作図

(単位：万トン)



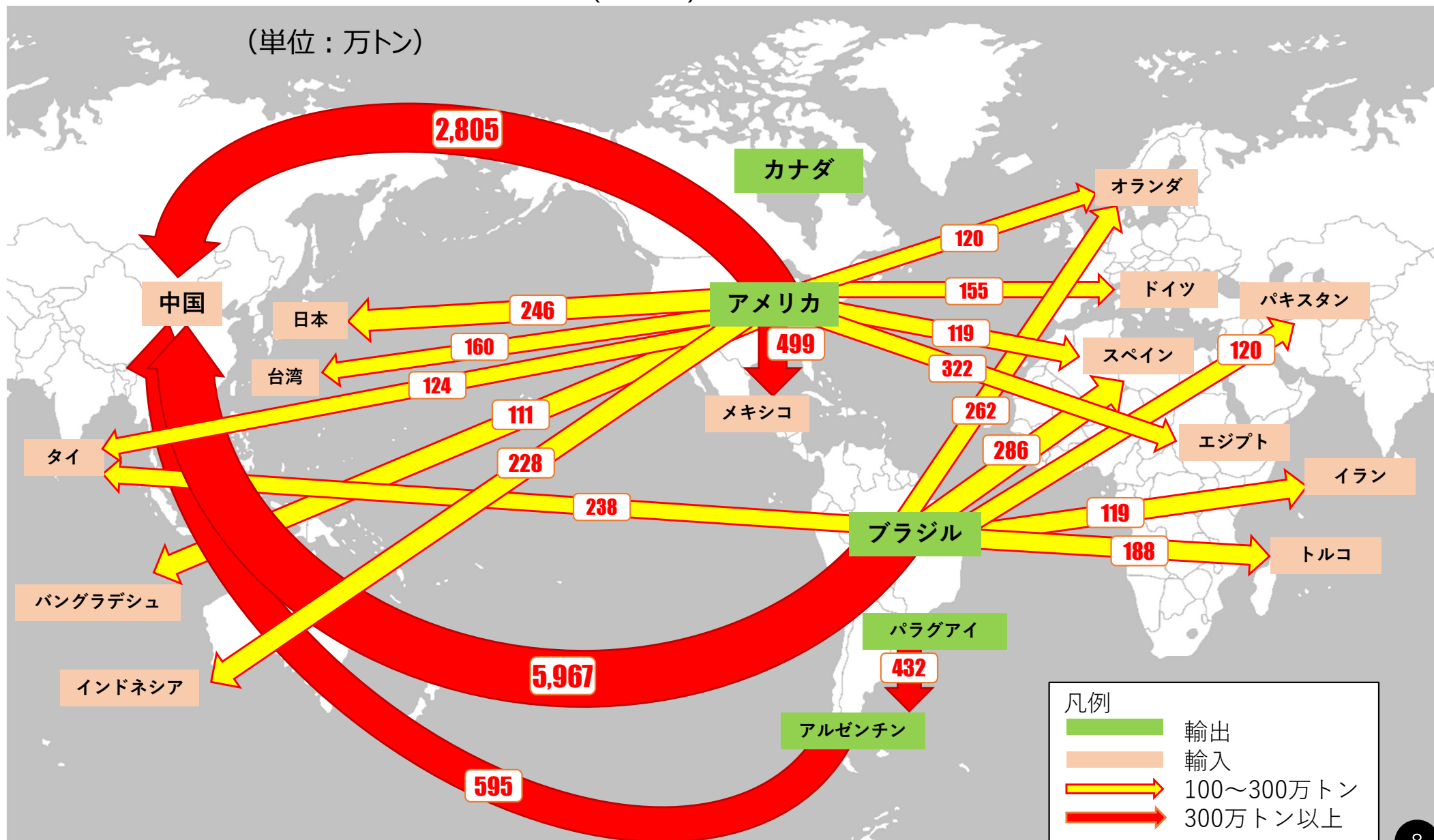
注：レイアウトの関係から実際の国の地理上位置とは異なる場合がある。

8 大豆の需給動向と貿易フローの変化：2020年の大豆貿易フロー図

2020年（前後3か年平均）の輸血量シェアは、ブラジルが52%と大幅に高まっている。輸入量シェアは、中国が59%と大幅に上昇する一方、日本は2%に低下。

(USDA PS&D Online data)

注：Global Trade Atlasのデータ（2023.01）で、大豆(HS1201)の輸出上位5か国から、100万トン以上輸出している貿易フローを作図



注：レイアウトの関係から実際の国の地理上位置とは異なる場合がある。